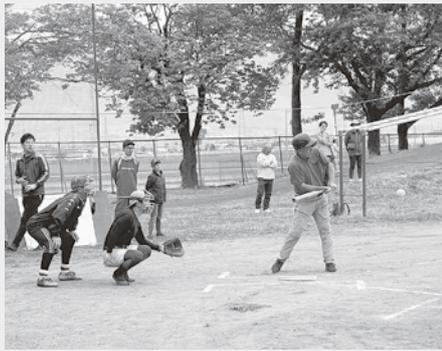




| | | |
|------------|--------|--------|
| 新村の人口 | 世帯数 | 現在 |
| 令和6年7月1日現在 | 1,337戸 | 1,510人 |
| 世帯数 | 1,510 | 1,604 |
| 男女 | 1,604 | 3,114 |
| 合計 | 3,114 | |

5月19日(日)
町会対抗球技大会を5年ぶりに開催



2024年の町会対抗球技大会へのご参加、誠にありがとうございました。この大会は、住民同士のコミュニケーションを促進し、スポーツを通じて日常の運動不足を解消し、健康を促進する重要な役割を果たしています。

昨年までの新型コロナウイルスの影響により、多くのイベントが中止され、地域の交流機会が減少しました。しかし、今年は「何とかしても開催したい」という



強い意志がありました。5年ぶりの開催となった今回の大会では、始めは参加者の募集に苦慮しました。長い中断期間の影響で、コロナ禍の活動制限から抜け出すのに時間がかかったことが原因です。しかし、町会役員の皆様のご協力により、多くの住民に参加を呼びかけることができ、その結果、田植えなどの忙しい時期でしたが、参加者数は当初の予想を上回り、多くの住民が大会に参加してく

ださいました。また、心配されていた天候にも恵まれ、薄曇りで少し肌寒い中での競技は、スポーツを楽しむのに最適で、参加者の士気を高め、素晴らしいプレーと熱心な応援を楽しみむことができました。

町会対抗球技大会は、単なるスポーツイベントにとどまらず、地域住民の健康促進やコミュニケーションの結束を強化する重要な機会です。地域の活力を引き出し、住民同士の絆を深め



る貴重な機会として、今後ますます重要な役割を果たしていくと考えています。ご参加いただいた皆様から感謝申し上げます。ありがとうございます。

新村体育協会会長 青木 秀行

大会結果

| | |
|---------|---------|
| ソフトバレー | ソフトボール |
| 出場8町会 | 出場7町会 |
| 優勝…東新 | 優勝…南新中 |
| 準優勝…下新北 | 準優勝…南新東 |
| 第3位…上新東 | |

芝沢小 地域探検

5月8日、新村公民館に芝沢小3学年2クラス、65名の児童が訪れました。

今回は、前半に公民館・福祉ひろば職員と住民有志により、恒例となっている「ものぐさ太郎」の紙芝居を行いました。

後半は、新村地区の成り立ちの話、出張所・福祉ひろばの仕事内容や地域との関わりについて説明を行いました。児童は



「地域探検」でした。今年3年生は、靴を脱いで公民館に入る時から終始静かで、整然としていたことが印象に残った

メモを取りながら一生懸命聞いていました。質問タイムでは、想定していたこととは違い「ものぐさ太郎」にかかわることばかりでした。「ものぐさ太郎は本当に新村にいたのですか?」「新村のどこにいたのですか?」…答えに困りながら、四苦八苦しました。

穂束八

松本出身の映画監督山崎貴さんの「ゴジラー1.0」(マイナスイオン)が米アカデミー賞の視覚効果賞を受賞した。市内各所でのイベン

トやインタビューが報道された▼私が映画館で映画を始めて観たのは幼少の頃、父に連れられ「モスラ対ゴジラ」と記憶している。館内の暗さの中で恐怖は今も忘れられない▼昭和29年11月3日に初演封切され、現在は「ゴジラの日」になっている。11月3日は私の誕生日だ。ゴジラは元々何だったのだとの疑問を持ち続けていたのだが、スマホによる検索で60年あまりの疑問が解けたのだ▼監督は初代ゴジラの怖さ、核実験や戦争のことを忘れられていた原点を感じられるよう意識したこと▼5月6日の信毎「境界から」欄で、仏領ポリネシアでの核実験が193回も行われ、被爆した島民は今も苦しんでいるとの記事を読んだ。南の海は汚染され、苦悩は現実なのだ▼第五福竜丸の被爆も忘れてはならないとの声も。核実験の脅威からゴジラを生み出した「本多猪四郎」監督にも敬意を表するものだ。

ものぐさ大学

自然観察会 「春まだ浅い塩の道」

4月30日、今年度初回は、小谷村の千国街道、塩の道「天神道」を27名で、地元ガイドの案内で歩きました。

柔らかい土の感触を感じ、イカリ草、チゴユリ、二輪草など小さな花々を観察しながら、苔むした石仏を拝み峠道を歩きました。行程の最後に「ヤマシヤクヤク」の群生地があり、白



く可憐な姿にスマホのシャッターを押していました。「塩の道」は長く、幾通りもあるのですが、これからも引き続き歩いて行きたいと、思いを馳せるいち日でした。

大人の社会見学 「サントリー大町工場見学」

5月24日、参加者21名で大町市の「サントリー北アルプス信濃の森工場」の見学をしました。

「未来に続く物語」をコンセプトに南アルプス(北杜市・阿蘇・奥大山(鳥取)に続く、第四の水源として大町市が選ばれました。水源地の自然環境を守りながら「サントリー天然水」を届けるという

ついに新車!!

新村プチ送迎ボランティアは、高齢者の通院や買い物のための移動支援を目的に活動しています。

中古車を購入し運行してきましたが、この度リース契約で新車の軽自動車に変更しました。

この車は、ペダル踏み間違えによる、急発進抑制機能装置等を備



え、安全性が高いです。令和6年6月現在、会員数は79名(利用者26名、運転者14名、賛同者39名)です。利用者に対して運転者が少ない状況です。

高齢化が進む中、プチ送迎の利用者の増加が見込まれます。この活動を継続するためには運転者が必要です。新村地区の皆様のご協力をお願いいたします。



午後は、劇団四季「浅利慶太記念館」を訪ねました。館内には、舞台装置の模型や衣装など展示され、過去の劇団の歴史がパネルや映像などで観ることが出来ました。爽やかないち日でした。

松本大学地域づくり考房「ゆめ」 ONE TEAMプロジェクト 塩尻で見つける仮想?現実 歴史空間初夏の旅

6月15日(土)に平出遺跡や平出遺跡博物館、奈良井宿を回るバスハイクが開催されました。松本大学学生と新村地区の方々合わせて33名が参加しました。

「昔へタイムスリップ」をテーマに、縄文時代から江戸時代までの歴史的遺跡や建築物群をめぐる、時代を感じられるイベントでした。平出遺跡では、発掘された縄文土器や竪穴式住居の仕組みについて学ぶとともに、当

時の人々の生活の様子を知ることができました。奈良井宿では、江戸時代から続く歴史的な宿場町を散策しま



加した学生は「遺跡や伝統的な建築物の前に、昔の人々の歩みについて、地域の方々と一緒に話しながら楽しく学ぶことができました。」などの感想を述べていました。

アクリル画・色紙を描く

月に一回、新村公民館でアクリル画教室を開催しています。会は2年前、「絵の好きな人が集まって、交流しながら描けるような場を」という有志の声で立ち上がり



ました。初心者や長年絵を描くことなど、地区の十数名が集まり各々創作活動をしています。アクリル画は色をはっきり描くことができ、重ね塗りも容易なのが特徴です。自分の思いや願いを自由に色や形にし、のびのびと楽しんで描くことを大切にしています。5月には梓川アカデミア館で二回目の展示会を開くことができました。展示を見て会に参加してくれた方もありました。さらに参加してくださる方があればいつでも大歓迎です。